

## ザンビア丸森プロジェクトが始まっどー！

いよいよ、2月からザンビアプロジェクトが始まります。このプロジェクトは地域のみなさんと一緒に作っていくプロジェクトです。みなさんが普通だと思ってやっている日常生活が、ザンビアの農家さんにはとても役に立つ情報だったりします。

コロナ禍ですぐにザンビアには行くことはできませんが、前回のザンビア人普及員メン

バーと共にリモートで進めて行く予定です。タイミングを見て、またこの丸森に研修に来てもらう計画もしています。

この状況下でどうなるかわかりませんが、時期を見てみなさまへの説明会も開催する予定です。



# 2月号

Vol.4

## 協力隊通信

宮原 治代  
(ミヤハラ ハルヨ)

### 国際協力ってなんだべした？

ジャイカ (国際協力機構) が発行している冊子を丸森町内の施設に配布することになりました。プロジェクト開始を機に、国際協力やSDGsのことを少しでも目に触れてもらう目的です。正直難しくてもよくわかりませんが、みなさんと作り上げていくザンビア丸森プロジェクトは国際協力であり、けっこう良いことやってるんだべな、と思ってくれたら幸いです。各小中学校、伊具高校、各まちづくりセンター、各図書館、役場などに設置予定です。ぜひ手にとってパラパラ見てみてください。

### 謎の物体、へそ大根

耕野に来て衝撃のひとつ、へそ大根。まずそのネーミングに驚かされ、形を見てさらにびっくり。イモムシの素揚げにしか見えません。そんなへそ大根を初めて作りました。極寒の中、工程がとても多く、剥きでは手足の感覚を失い、刺しでは激熱攻撃を受け、片付けてまた極寒に戻り。くたびれました。干し場できちんと整列した大根はなんだか可愛くて愛着が沸きました。使えなかった細い大根を切り干し大根にし、その日は終了。食べれる日を心待ちにしています。



## 猟友会に同行しました。

猟友会会長にお願いして以前から興味があったイノシシ狩に連れて行ってもらえることになりました。集合する前に足跡チェック。まるで実況見分です。まず新しい足跡と古い足跡を見分け、そこから移動した方向とイノシシの大きさを推測します。大きい足跡の側に小さい足跡があれば親子です。30年のベテランの勘と経験で、無線で仲間に待ち伏せの指示を出します。犬が吠えたら現場にピリッと緊張感が走り、みんなの動きも素早くなります。無線で逐一状況を報告し合い、イノシシを仕留めました。初めて間近で見て、とにかく「すごい」の一言でした。



裏です。

## 鶏、さばいてみた。

ひよんなことから、鶏が手に入りました。毛だけ処理してある鶏です。目もトサカも内臓もそのままの。やった事なかったので捌いてみることにしました。しかし参考動画を見ながら捌くけど上手くいかない。よく見たら合鴨の捌き方を参考にしてみました。同じ鳥だから良いだろうと思って。試行錯誤しながら捌きましたが、ぐちゃぐちゃで全然美しくない。鶏さん、ごめんなさい。でもおいしくいただいています。

余談ですが

いや、まじで寒すぎです。こんなに灯油がすぐ無くなるとは！雪いつまで経っても解けんのすごい。こっちに来てから車生活で、かなりの運動不足。昼休みに縄跳び始めました。ボクサー並にハカハカ言ったりします。

## 炭窯のお医者さん

スローバックスの佐藤さんちの炭窯を調査していただきました。炭窯の状態はとても良好と診断いただきました。さらに炭を作っていたお父さんは几帳面な方だった、ということも炭窯からわかりました。炭窯の復活楽しみにしています。



## たたら製鉄って何よ。

たたら製鉄って「多々良製鉄所」のことかと思っていました。みなさんご存知、古代から近世にかけて発展した製鉄法でした。筆甫で「たたら製鉄やる」とのことので、見学に行きました。その日は極寒日でしたが炉の周りで暖をとりました。しかし近づきすぎると火の粉の餌食に。服に穴が開きます。鉄は5kg採れました。

